

生ごみ堆肥化レポーター 活動報告

生ごみ堆肥化レポーターとは？

コンポスト化容器や生ごみ処理機などを活用して、生ごみの堆肥(たいひ)化・減量化を実践されている方にレポーターとして実践記録などを報告していただきます。レポートの内容は市民の皆さんに情報提供していきます。

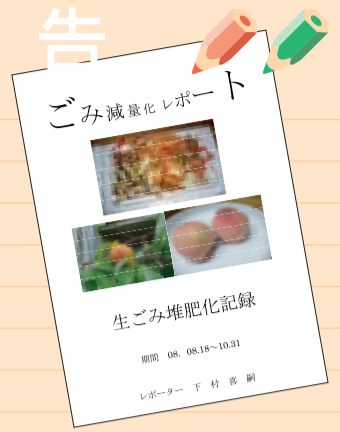
今回はレポーター活動の一部をご紹介します。



スリムちゃん

15名のレポーターが活動中

皆さんに共通するのは、生ごみの減量が無理せず、とても楽しみながらそれぞれのやり方で実践していること。本当の意味での豊かな生活を考えさせられます。



写真を効果的に使ってレポートを作成 下村喜嗣さん(久代)

野村正躬さん(けやき坂)

自宅から、借りている菜園まで生ごみ片手に散歩をするのが日課です

コンポスト2基を使って堆肥化しています。一つには落ち葉や枯れ草、植物のつるなどを、もう一つには生ごみを入れています。



始めた頃は、泥のような堆肥ができたこともありましたが、色々な方法を試行錯誤しながらやってきました。収穫した野菜は、長浜に住む子どもにも送って、喜ばれています。

都築京子さん(清和台)

ほとんど手間はかけていません。面倒なことはできません(笑)



庭で柿やミカン、ブルーベリーなどを育てています。市販のものとは味が全然違います。生ごみ処理機は手間もかからず非常に便利です。メロンの皮も半分くらいそのまま入れてしまっています。乾燥後の生ごみは庭にまいて堆肥にしています。

肥料代をかけずに、おいしい野菜や果物がたくさん収穫できるうえに、生ごみの減量になるのでお得です。



ブルーベリーの木

中園好哉さん(南花屋敷)

きっかけは、向かいの空き地の環境改善。6年分の菜園日誌はデータの宝庫です

阪神大震災で空き地になった自宅の向かいの宅地に雑草が茂って、ポイ捨てやごみの不法投棄が発生したので、地権者の同意を得て菜園化に着手しました。畝ごとに枯葉、油かす、石灰などを混ぜた生ごみを土に直接、埋めています。



カルテのように詳細な記録

お正月など生ごみが一度に大量に出るときはコンポストに入れていきます。6年間の菜園日誌の写真をみると一緒に写っている孫の成長もわかるんですよ。

谷口陽子さん(丸山台)

プランター堆肥は私のお遊び。家族には我が家の研究者'と言われていています



台所にボードを置いて生ごみの投入量をその都度メモしています

バイオ式の生ごみ処理機を使っています。今は、プランター堆肥にも挑戦しています。プランターは2つに分けて、鶏糞を入れたものと入れないものというように別々のやり方を試して堆肥化の様子や植物の成長を比較しています。

次はこうしてみよう、と思いつきながら工夫するのがとても楽しいです。皆さんもぜひお金のかからないプランター堆肥化にチャレンジされてはいかがでしょうか。



プランターを容器にして生ごみを堆肥化



枝の太さはおよそ3.5cmまで粉碎できます



スイッチ操作で簡単に使用可能

- (対象) 川西市民(自治会・管理組合への貸し出しも可)
- (条件) 家庭から出る枝木を粉碎・チップ化し、土壌改良材などに有効利用すること(粉碎・チップ化したものを市のゴミに出さないでください)
- (貸出方法) リサイクル推進課が粉碎機を指定場所へ運搬し、使用方法を説明します。返却時の引き取りも行います
- (貸出期間) 概ね4日以内
- (申込方法) リサイクル推進課へ(電話可)

枝をチップ化してごみ減量
剪定(せんてい)枝
粉碎機を
貸し出します



クリンちゃん



剪定枝を細かく砕いてチップ化できる「剪定枝粉碎機」を無料で貸し出します。

生ごみ処理機などの購入費を助成します

生ごみを堆肥化して有効活用しましょう。ごみの減量にも役立ちます。

- (助成額) 購入費(消費税を除く)の半額。上限1万円。
- (申込方法) 購入前にリサイクル推進課に電話などで予約を。



コンポスト化容器